

「全国学力・学習状況調査」結果について

4月に6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施され、その調査結果が千曲市報（11月号）で公表されました。本校でも調査結果を分析し、成果と課題を明らかにして、これからの学習指導に役立てていきます。今後さらに学力向上の取り組みを進めるために、家庭との連携は欠かせません。成果と課題を保護者の皆様と共有していかれるよう、本校の全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。

(1)教科に関する調査結果の概要（平均正答率と考察）

調査内容	学 習 指 導 要 領 の 領 域
国語 A 知識に関する問題	○ 全国・長野県の平均と同程度でした。 ①「話すこと・聞くこと」は、相当数の児童ができています。②「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、多くの児童ができていますが、課題があります。③「読むこと」は60%を上回っていますが課題（※1）があります。
国語 B 活用に関する問題	○ 全国・長野県の平均をやや下回りました。 ①「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は60%を上回っていますが、課題があります。②「読むこと」は50%を上回っていますが、課題があります。③「話すこと・聞くこと」「書くこと」は50%を下回り課題（※2）があります。
算数 A 知識に関する問題	○ 全国・長野県の平均と同程度でした。 ①「数と計算」「量と測定」「数量関係」は、いずれも相当数の児童ができています。 ②「図形」は、多くの児童ができていますが、課題があります。（※3）
算数 B 活用に関する問題	○ 全国・長野県の平均と同程度でした。 ①「数と計算」「図形」は60%を上回っていますが課題があります。②「量と測定」「数量関係」は、50%を上回っていますが課題（※4）があります。

【国語】

- ① 漢字の正答率は全体的に高いが、「祝う」の書きは低い。
- ② 「新聞の投稿を読み、表現の仕方として適切なものを選択する」「詩に対する解釈として適切なものを選択する」の正答率が低い。（※1）
- ③ 「話合いの記録の仕方として適切なものを選択する」の正答率が高い。
- ④ 「質問の意図を捉える」問題の正答率が低い。（※2）

【算数】

- ① 四則計算については正答率が高い。
- ② 「示された場面から基準量と比較量を捉え、何倍になるか」を問う問題

の正答率が高い。

- ③「コンパスを使った平行四辺形の書き方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ」の正答率が低い。(※3)
- ④「示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述する」問題の正答率が低い。(※4)

(2) 生活習慣や学習習慣に関する調査結果の概要 ()はH25年度

	質 問	「はい」の割合(%)	全国・県との比較
生活習慣・余暇利用	朝食を毎日食べていますか	93.1 (98.2)	全国・県とも上回る
	平日に2時間以上テレビゲームをしていますか	23.6 (12.8)	全国を下回り、県と同程度
	平日に2時間以上テレビやビデオDVDを見ていますか	54.2 (60.0)	全国・県ともに下回る
	平日に30分以上読書をしていますか	52.7 (36.4)	全国・県とも上回る
	地域の行事に参加していますか	56.9 (47.3)	全国を上回り、県を下回る
学習習慣	学校の宿題をしていますか	87.5 (90.9)	全国・県ともに上回る
	平日に1時間以上家庭学習をしていますか	88.9 (85.5)	全国・県を上回る
	学校の授業の復習をしていますか	23.6 (23.6)	全国・県を上回る

□成果と課題

- ①生活の基本（朝食、決まった時刻に就寝・起床する）はしっかりと定着しています。
- ②テレビゲームをしたりテレビやビデオ DVD を見たりする時間が多い現状がうかがえます。ノーゲームデー・ノーTVデーなどに取り組み、子どもと話す時間や読書の時間がさらにとれようをお願いします。
- ③学習時間については、平日・土日とも良い結果となっていますが、個人差が大きいです。屋代小学校の家庭学習時間の目安である「学年×10分＋10分」は毎日するようにしましょう。

□今後の対応について

算数では、「伝え合い、響き合い、学び合い、友だちの名前がたくさん出てくる授業作り」の成果が表れています。国語では、観点をはっきりさせて自分の考えをまとめたり、話し合ったりする活動を取り入れて、「伝え合い、学び合う授業」をさらに推進していきます。今後のご家庭に協力をしていただきながら、家庭学習の指導やノーテレビ・ノーゲームデーなどに取り組んでいきたいと思ひます。